笑顔いっぱい　夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより　No.20
令和７年　６月１３日
文責：校長　　酒井　　健

◇「劇団　らくりん座」の演劇鑑賞教室が行われました。

６月１２日(木)、安積第三小学校で「鑑賞教室」が行われました。午前が１～３年生、午後が４～６年生の子どもたちが演劇を楽しむことができました。今年度の鑑賞教室は、演劇鑑賞でした。栃木県那須塩原市に活動拠点がある「劇団　らくりん座」の皆様にお越しいただき、『ゆきと鬼んべ』という演劇を鑑賞することができました。すばらしい、感動的な内容でした。１年生の子どもの中には、最後に涙を流している姿も見られました。パンフレットには、**『受け継がれる命の大切さ　本当の勇気と思いやりの心　大自然をつかさどる精霊の宿命』・・・壮大なテーマを盛り込んだ児童文学作家さねとうあきらの創作民話**　と記載されていました。この作品は、ロシアなど海外公演もされていて、国内外において高い評価を受けている作品とのこと・・・本当にすばらしい演劇でありました。ぜひ、お子様からもお話を聞いてみてください。

校長のひとりごと

私は、常々、子どもたちに『本物との出会い』をさせてあげたいと思っています。本物と出会い、本物の音を聴き、本物の姿を見て、本物を心の中で感じ取ってほしい・・・そう、願っています。今回の鑑賞教室は、まさしく『本物との出会い』であったと感じました。演劇を見ている子どもたちの目は真剣で、キラキラと輝いていました。本物が繰り広げる空気感を一緒に味わっている・・・そんな気がしました。そして、本物だからこそ、感動するのだと思います。涙を流す子どもたちがいたことは本物を見て、心が揺り動かされたのだと思います。あらためて、『劇団らくりん座』の皆様に感謝いたします。子どもたち感動を与えていただき、ありがとうございました。

これからも、子どもたちに、たくさんの『本物との出会い』『感動体験』をさせてあげたいです。